

NGS解析のDNA/RNAライブラリ調製は ここがポイント！ ～目的に合ったサンプル調製法の選び方～



日時 2024年 7月 30日 [火] 13:30 ~ 14:00

演者 小野寺 純 ベックマン・コールター株式会社 ライフサイエンス マーケティング本部
ジェノミクスプロダクトマネジャー

ゲノム・トランスクリプトーム解析成功のキーは、DNA/RNAサンプル調製であることは疑いありません。品質の低いサンプルからは、どんなに丁寧かつ最良のライブラリ調製、シーケンシング、バイオフィォマティックス解析を行っても、真に求める結果は得難いとされています。

また、日々サンプルが増加する現代のNGSワークフローにおいて「目的にあった効率的なサンプル調製方法を選び」かつ「ハイスループット処理方法を構築する」ことは避けられない課題の一つです。

本セミナーでは、生体からのDNA/RNAサンプルの調製/精製の方法について、歴史的な経緯から簡単に振り返つつ、現在利用可能なさまざまな技術について概説します。

さらに当社が提供するSPRI磁性ビーズ法のメリットの一つである、「DNAサイズセレクション」についても解説いたします。ハイスループット処理が可能なSPRI磁性ビーズ法は、NGSワークフロー改善において知っておくべき手法の一つです。当社自動分注ワークステーションBiomek i-Seriesを使用したDNA/RNA抽出にとどまらず、NGSライブラリ調製のハイスループット自動化について実例を紹介いたします。

視聴登録はこちら

<https://bit.ly/3W8dbCa>



Beckman CoulterおよびBeckman Coulterロゴは、Beckman Coulter, Inc.の登録商標です。